

一般質問一覧表（平成29年第1回定例会）

（町長に対するもの）

No.	議席	議員名	件名
1	1	高田 議員	J R 留萌線問題への対応が後手ではないか
2	6	長原 議員	運転免許自主返納制度の取組は
3	7	鶴野 議員	観光入込客数の減少に対策が必要
4	4	小峯 議員	インバウンド観光客の獲得について
5	5	久保 議員	町長は農協あと地「(株)まちづくりぬまた」の運営をどう把握しているのか
6	2	津川 議員	安心して暮らしやすいまちづくりについて
7	10	橋場 議員	所得の低い人程負担比率が大きくなる。消費税の廃止を国に要求されたいが、考えを聞きたい
8	10	橋場 議員	「行政改革」等で経費が抑えられた自治体の水準を基準として交付税を算定する「トップランナー方式」を国に対して廃止を求めるべきと思うが考えをききたい
9	10	橋場 議員	山野草の利用を進めてはどうか
10	8	杉本 議員	国保の運営主体が道に移った後の保険料はどうなるのか
11	8	杉本 議員	雨龍川水系で鷹泊ダムの放水管理の協力で水田浸水減少策を
12	3	大沼 議員	個人情報保護法と町内会など名簿の扱いについて
12件	9人		

（教育長に対するもの）

No.	議席	議員名	件名
1	2	津川 議員	社会教育、体育施設の運営方針について
2	10	橋場 議員	ほたる館と幌新岳、旧登山口から玄武山へのスノーシューの散策を考えないか
2件	2人		

【町長】

通告順	1	質問 議員	高田議員
質問 項目	JR留萌線問題への対応が後手ではないか		
質問 内容	<p> 昨年の第4回定例会で、JR留萌線存続を求める旨の一般質問がなされました。その後1月31日に、北空知1市4町による検討会議が発足し、「オール北海道での対応が必要」との意見が出されたようです。 </p> <p> 北海道鉄道ネットワークWTが、北海道に出した報告書の中での留萌線の位置付けは、「地域の生活を支える路線であり、地域における検討が必要」とされました。WTの報告書に対しては、北海道知事も「自らの考えに近い」とコメントをしています。 </p> <p> JR北海道は3年後に資金不足に陥ることから、国や道を含めて地域での議論が加速することが予測されます。 </p> <p> 町は今から、町民がどのようにJR留萌線を利用しているのか調査を進めるべきです。 </p> <p> 仮に鉄路が廃止された場合でも、町民が困らないように町民の生活実態に合わせ、他の交通機関も含めた地域交通のあり方を検討するべきであると考えます。 </p> <p> 国にJR北海道への経営支援を求めるよりも、地域交通にかかる経費や、通勤通学者への定期差額の補填などが継続して実施されるよう求めるほうが未来志向であると考えます。 </p> <p> 町長の考えを伺う。 </p>		

通告順	2	質問 議員	長原議員
質問 項目	運転免許自主返納制度の取組は		
質問 内容	<p>少子高齢化が進む中で、高齢者の運転免許所持の割合は年々増加しています。高齢者の中には運転に不安を感じている方もいると思います。</p> <p>道内の自治体や全国では、運転自主返納制度の取組を実施し、自主返納し易い環境づくりを行なっています。</p> <p>沼田町も今後の高齢化が更に進むことを考えるとき、自主返納制度の取組を行い、家族や地域で高齢者の運転について考える機会をつくるべきと思います。</p> <p>道内の自治体では、自主返納制度で、運転免許返納者に様々な助成を実施しています。一例として、一定額のタクシー割引チケットやバスの運賃割引などがあります。又、全国では全国運転免許返納サポート協議会があり加盟企業、団体などで利用特典サービスを実施しています。</p> <p>今後の地域の交通安全を考える上で、運転者自主返納制度の取組を考えて行けないか聞きたい。</p>		

通告順	3	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	観光入込客数の減少に対策が必要		
質問 内容	<p>空知総合振興局が2016年度上期の管内観光客数の調べの報告があった。</p> <p>それによると、去年は総じて減少傾向になっている。本町もその傾向ではあるが、観光入込客数が管内でも下位に位置している。たくさんの資源を持ちながら、これでは問題を感じる。</p> <p>夏の「ホタル」、「夜高あんどん祭り」が有るがそれに続く物が表現されていない。地方創生においても地域資源を活かした、交流人口の増加と稼ぐ力の向上を目指してはいるが成果が見受けられない。</p> <p>この様な状況で観光事業をどの様に考えているのか。</p> <p>本町には自然環境（雪）と歴史的な空間と時間などの、たくさんの資源があるが改めてどの様に活用できるか町民と共に考えてはどうか。</p>		

通告順	4	質問 議員	小峯議員
質問 項目	インバウンド観光客の獲得について		
質問 内容	<p>執行方針の中の観光振興対策に北空知観光ネットワーク組織を主体としながらインバウンド観光客をターゲットに市観光周遊づくりを目指す取り組みを展開中となっています。沼田の観光資源はほたる、夜高あんどん、そして雪というキーワードがあると思います。沼田町として何をどのように活用して観光客を呼び込もうとしているのかお聞きします。</p> <p>また、沼田町の観光は期間が短いのが多いと感じます。蛍は一定期間ありますが夜高あんどんは前夜祭を入れて3日、ハロウィンのイベントや、先日行われた輝け雪の町フェスタも1日。町内向けの行事なので1日なのは理解しますがではインバウンドの観光客をとりこむ観光として必要とするのは何か。沼田として何が足りないと考えているのかお聞きしたい。</p>		

通告順	5	質問 議員	久保議員
質問 項目	町長は農協あと地「㈱まちづくりぬまた」の運営をどう把握しているのか		
質問 内容	<p>1. 【契約内容】 商業コミュニティ中核施設の中核テナント「株式会社道北アークス」と2月15日に締結した本契約の内容と、根拠を説明せよ。</p> <p>2. 【収支計画】 運営する「株式会社まちづくりぬまた」の一年間の売り上げと利益の目標金額と、その内訳と根拠を説明せよ。</p> <p>3. 【サポート】 沼田町は、「株式会社まちづくりぬまた」をどのようにサポートしてゆくのか？金銭面、アイデア面などがあれば紹介せよ。</p> <p>4. 【既存の商店との共生】 商工費のバランスは、中核施設の登場により変化するのか。2015年度の「決算」特別委員会において農業商工課からは、質問「商工費の不用額が残っているが、中核施設を計画している年度だからこそ、既存の商店街が使いやすい予算であるべきではないか。」との質問に対して、「中核施設と商工業全体が繁栄できる環境づくりの議論を進めたが、執行残は210万円。既存店の底上げは商工会にお願いしている。」との回答をいただいた。新年度は工夫を加えるのか。</p> <p>事業費7億1千万円のうち沼田町は半分以上の3億6千万円を負担する。そこに町長の決意も感じるが、事業費はハードのみだ。所期の目的を達成するために運営する「株式会社まちづくりぬまた」のソフト能力に期待する。</p>		

質問内容	青森市のコンパクトシティーの象徴である商業施設「アウガ」の1～4階の店舗が2月28日に閉店した。また羽幌町の商業施設「ハートタウンはぼろ」のご苦労など道内の似た状況も耳に入って来る。町長は今年、『公共施設などの適正管理の推進』をする。ぜひ、中核施設がオープンする前に町民の不安を払しょくし、希望を与えていただきたく、上記の質問をする。
------	---

通告順	6	質問議員	津川議員
質問項目	安心して暮らしやすいまちづくりについて		
質問内容	<p>沼田町の人口も3,186人と目標ビジョンを下回っておりますし、移住定住事業も今ひとつ成果が上がってこない状況の中で、町長は29年度の執行方針として、健康で安心して暮らしやすいまちづくりを第一の目標に掲げております。コンパクトエコタウンを中心としたまちづくり、福祉・医療・保健の充実、住み良い生活基盤の確保、其々が大変重要なことだとは思いますが、これらは何処の町も心がけている事、やってる事だと思います。予算概要をみると確かに新規予算、拡充予算で何点か評価できる所はありますが、はたしてこれらの事業強化だけで移住定住へ向けて成果が上がるのか、内外の人達にアピール出来るのか。</p> <p>この町を訪れた人達がぜひ又もう一度この町に来てみたい、この町に住んでみたいと感じてもらえるためには何が必要なのか町長の考えを伺いたい。</p>		

通告順	7	質問議員	橋場議員
質問項目	所得の低い人程負担比率が大きくなる。消費税の廃止を国に要求されたいが、考えを聞きたい		
質問内容	<p>執行方針の中で(1P)「今年4月に予定していた消費税10%への引き上げも2019年10月に2年半先送りすることとなり、景気の回復は行きづまりの様相を強めております」と述べているが、これでは国民生活が苦しくなっているのは、消費税を上げないからだと言う事なのだろうか。</p> <p>昨年6月に日本共産党が発表した「消費税に頼らない別の道」と言う政策によると、消費税創設以来28年間で消費税税収は327兆円となっています。ほぼ同じ時期に法人3税は270兆円、所得税と住民税は261兆円それぞれ減っている。法人税は大企業、富裕層への減税が繰り返されたこと、不況による税収の落ち込みによるものです。</p> <p>税金は、「応能負担」を原則であるべきだと思うが、実際は所得が1億円を超えると逆に負担率が下がります。1999年にそれまで最高税率が65%から50%と下がりました。</p>		

質問内容	<p>法人税も実質負担率が中小企業は平均20%、大企業は平均12%と逆さまです。その外、大企業・富裕層にはさまざまな優遇税制があります。やっていることが逆さまです。弱者いじめの消費税引上げ反対の立場にたつのも、町民生活を守らなければならない町長の役目だと思いませんか。本町も高齢化が進んでいます。年金生活者が増えていると言う事です。沼田町は弱い立場の方たちへの支援策に力を入れております。</p> <p>一方、国は年金を引き下げ、福祉制度の自己負担を引き上げています。町民の皆さんが悲鳴を上げております。住民本位の町政を進めるだけでなく、「年金下げな」、「福祉の増進を」との町民の声を国に対して伝えるのも町長、行政、議会の役目だと思わないか。</p> <p>考えを聞きたい。</p>
------	---

通告順	8	質問議員	橋場議員
質問項目	「行政改革」等で経費が抑えられた自治体の水準を基準として交付税を算定する「トップランナー方式」を国に対して廃止を求めるべきと思うが考えをききたい		
質問内容	<p>地方交付税の役割は、自治体が標準的行政サービスを実施した場合の経費を基準に、地方税等の不足分を算定し、どの自治体にも財源を保障することです。それに引きかえ、「トップランナー方式」は「行政改革」等で経費を抑えた自治体の水準を基準に交付税算定するという地方交付税本来の趣旨に反するもので地方6団体は強く反対している。わが町も強く反対されたい。</p> <p>これまで自治体職員が就労していた業務を民間委託や指定管理者制度を導入することを前提にして経費を割り出して、数年かけて単価を引き下げると言う賃金が引き下げられ貧困化が進み地方創生にも反する。1年目の昨年度(2016年度)は16業務の指定だが反対の声を強めなければ対象業務が増やされます。当町の現状を知りたい。</p>		

通告順	9	質問議員	橋場議員
質問項目	山野草の利用を進めてはどうか		
質問内容	<p>ほろしん温泉で山野草祭をやってはどうか。</p> <p>山野草はそれぞれ生育時期が違うので収穫時期を合わせるため、ギョウジャニンニク、ユキザサ、オオウバユリ、ウドは栽培する必要があるが、その他のものはいくらかでも取れるものがある。ほたる館で一ヶ月くらい利用できます。</p> <p>○ウドは根分けして山から採ってこれます。いくらかでも収穫できます。</p> <p>○ギョウジャニンニクは自生地では二葉になるのに数年かかるけど、畑に植えるとすぐ太くなり増えます。</p>		

質問内容	<p>その他に取れるもの カタクリ、ニリンソウ、エゾノリュウキンカ（ヤチブキ）、クサソテツ（コゴミ）、ゼンマイ、ハンゴンソウ（ナナツバ）、ワラビ、タラノキ、イラクサ（カイグサ）、オオバコ、ヨモギ、ヨブスマソウ（ボンナ）、ヤブカンゾウ</p>
------	---

通告順	10	質問議員	杉本議員
質問項目	国保の運営主体が道に移った後の保険料はどうか		
質問内容	<p>道が昨年11月に公表した、移管後の沼田町の国保料はモデル世帯の試算額によると、道平均に近い額になり15.9%の伸び率で公表されました。国保加入者の所得が高い場合増加する、低い場合は減少するとしておりこの試算を基に平成29年7月までに基礎となる金額をまとめ、市町村はその結果を参考に保険料を決めることとなる、としています。</p> <p>1. 道が試算額を公表後に、町に何かヒヤリングはあったのか、又町や町民一丸となって病気にかからないように、健康運動指導者導入、町民検診やかかっても早期治療の励行等国保会計の圧縮に努力してきた経過は勘案されるのか。</p> <p>2. 国や道は今後医療分野において、超高齢者の増加やがん新薬のオプジーボ等医療費の上昇は避けられない状況にあり比例して国保料の高額化は避けられません、各市町村の基礎に平準化だけでなく、上記の様な政策誘導も試算に加味する必要があると考えられますが、国や道も国保会計に対し各種支援制度を予算化しています、その内容は。</p> <p>3. 沼田町の保険料は道の結果を参考に激変緩和対策として基金等を勘案し決めることとなると思いますが、基本的な考え方は、こうした情勢を踏まえて、新年度の国保料の考え方は</p>		

通告順	1 1	質問 議員	杉本議員
質問 項目	雨龍川水系で鷹泊ダムの放水管理の協力で水田浸水減少策を		
質問 内容	<p>昨年夏4つの台風で、上川・空知・十勝管内等全道で人身災害を含む甚大な被害を受けました。</p> <p>開発局では温暖化で想像以上の大雨が降る恐れが高まっている。水位など河川に関する適切な情報を提供したいと報道していますが、沼田町の水田浸水被害は毎年のように起きています、この原因の中には鷹泊ダムの満水放水が大きな原因ではないかと思ひます、近年はスポット的な豪雨も続発しています、開発局と北電更に気象庁との連携で水田浸水被害を最小減への対策をしては。</p> <p>1、昨年秋の臨時国会に於いて、糠平ダム等満水放水により予想以上の水位になった可能性があるとの質問があり、答弁の中で異常気象多発な時代に対応できる様にダム管理者の協力を願う、と大臣答弁でありました。管理当事者の協力を、北空知広域自治体からも朱鞠内ダムや鷹泊ダム管理者に気象庁との連携をしての、早期放流を要請して浸水被害の対策を要請してはどうか。</p> <p>2、雨龍川の河川改修計画で、川幅・川底改修で水害被害を少なくしたいと10年程前に河川関係者への説明会がありましたが、その後町には毎年改修の進み具合・計画の推移等の説明はあったのか、また説明を求めた経過はあったのか、更に河川組合への説明はされたか。</p>		

通告順	1 2	質問 議員	大沼議員
質問 項目	個人情報保護法と町内会など名簿の扱いについて		
質問 内容	<p>個人情報保護法が改正され平成29年5月30日から全面施行されます。早期に対応しなければならない項目は、5,000人要件の撤廃とオプトアウト手続きの厳格化です。</p> <p>営利・非営利の別は問われないため、町内会、自治会、同窓会においても個人情報取扱事業者とみなされる可能性は高いと思われます。</p> <p>行政区が個人情報を集める、保管する方法を理解するには、町の指導が必要と思いますがどのように考えているのかお尋ねしたい。</p>		

【教育長】

通告順	1	質問議員	津川議員
質問項目	社会教育、体育施設の運営方針について		
質問内容	<p>12月定例で社会教育、体育施設の利用向上へ向けて質問しましたが、あれから3ヶ月経過しました。</p> <p>まもなく雪も解けて野外の其々の施設が活動を開始いたしますが、29年度運営へ向けて、各関係機関との連携を含めた打ち合わせや検討をどの程度行われたのか伺いたい。</p> <p>また、これらの施設を利用してくれる人々に対するホームページの更新や案内標識等に不親切な箇所が見受けられるが、対応について伺いたい。</p>		

通告順	2	質問議員	橋場議員
質問項目	ほたる館と幌新岳、旧登山口から玄武山へのスノーシューの散策を考えないか		
質問内容	<p>幌新岳・玄武山とも山スキーのコースが出来る可能性があり、堅雪の時期になると長靴で自由に歩けます。</p> <p>スポーツ、観光としての可能性があると思うが、考えを伺いたい。</p>		